

荒川区基本計画(素案)に関するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

平成28年12月2日～平成28年12月15日

2 実施方法

荒川区基本計画(素案)の全文及び概要版を区ホームページに掲載するとともに、総務企画課及び情報提供コーナーにおいて閲覧に供した。

3 意見提出数

提出者：14名、意見数：30件

4 意見の取扱い

計画に反映する	1件
計画に盛り込まれている	13件
事業としての実施を検討する	2件
意見・要望として受けとめる	14件

荒川区基本計画パブリックコメント結果

計画に反映する / 計画に盛り込まれている / 事業としての実施を検討する / 意見・要望として受けとめる

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
1	幸福実感都市を目指し区民の幸せを配慮した区政、荒川区基本計画素案の政策施策に接し毎回のことながら感服している。 区の素晴らしい取組を深く知ることができ、周囲の方々にもその素晴らしさを知ってもらいたい。	区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）を定め、幸福実感都市あらかわの実現に向け、様々な施策に取り組んでおります。 今後も引き続き、区民の皆様の幸福実感向上のための取組を充実するとともに、区政のPRに努めてまいりますので、一層の御支援、御協力をお願いいたします。	
2	老若男女が参加出来るアイデアクラブ又は発明クラブのようなクラブをどこかの分野に作れば楽しいのでは。	頂戴した御意見のような新しい視点でのクラブ活動が活発に行われることは、地域コミュニティの活性化につながるものであり、区としても積極的に支援をしていくべきものと考えております。 本計画においても、「高齢者の社会参加の促進」、「生涯学習活動の支援」、「芸術文化の振興」、「地域活動の支援と人材育成」など、様々な施策において、生涯学習等を推進しており、これらの施策に基づき、区民一人一人の活動ニーズに応えるための支援を一層充実してまいります。	
3	朝、起きたらすぐに体操をして身体を温める、飲食を節するなど、自己管理が大切。地域社会への奉仕も重要である。	全ての区民の皆様が、生涯健康で、地域で生き生きと暮らしていけるよう、幸福実感都市あらかわを目指し取り組んでまいります。	
4	校庭が芝にしてある学校と、ない学校がある。春の砂嵐で近所が迷惑している。	校庭の整備を含め、学校施設等の改修につきましては、本計画の施策「学校施設等の整備」に位置づけているところでございます。 校庭の芝生化はこれまで、ヒートアイランド対策、環境教育の観点から整備を進めてきており、砂埃の防止にも効果があるものと認識しております。 一方で、日照条件等から生育に適さない場合もあることや、芝生の養生中に校庭の使用が制限されるなど、維持管理を行っていく上で一定の制約が求められる等の課題もあり、全校を芝生化することは困難なのが実情です。 砂埃への対応といたしましては、スプリンクラー等を活用しながら適切に散水を図ってまいります。	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
5	学校のイジメは犯罪であり、教育と警察の取締がもっと強くあってもよい。	これまで区では、いじめ等の早期発見、早期対応をするべく、心理専門相談員やスクールソーシャルワーカーの配置等に積極的に取り組んでまいりました。 本計画においては、施策「子どもの健全育成」に、不登校やいじめ等への対応を明記しており、御指摘の趣旨を踏まえ更なる取組の充実を図ってまいります。	
6	区内の飲食店で、高齢者向けのメニューとして、量が少なめで、美味しく、シンプルなものを提供しているところがない。浅草、上野、銀座あたりの良いお店を誘致して色々な面でレベルアップして繁栄してもらいたい。	区内の飲食店において高齢者向けのメニューを充実させることは、高齢者の皆様の御利用の増加につながり、地域経済・コミュニティの活性化に資するものであると考えております。 現在区では、区内の飲食店で、いつでも健康に配慮した食事がとれるよう、区内飲食店と女子栄養大学短期大学部及び区が連携をして「あらかわ満点メニュー」の開発を進めております。 また、「あら！もったいない協力店」として登録されている飲食店では、注文時に食べられない食材や小盛りの希望を聞くなどのお客様対応に御協力をいただいております。 頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、まずは区内飲食店と連携したサービスの向上の取組を一層進め、区内の飲食店の活性化を図ってまいります。	
7	荒川は安心安全安寧で素晴らしいまちだと感じている。	治安ナンバーワン都市を目指し、区民の皆様が安全安心を実感できるまちづくりに引き続き取り組んでまいります。	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
8	女子医大移転問題や跡地の総合開発、荒川総合区民病院新設についての検討が必要である。	<p>東医療センターは、地域に根差し多くの区民の方々が利用する医療施設であり、災害拠点病院として重要な役割を担っていることなどから、区民の方の生活に欠かすことができない大切な医療拠点であると考えております。</p> <p>そのため区といたしましては、足立区にある所有地が移転先の有力候補であるとのことを受け、東京都に当該病院の移転を目的とした所有地の売却はされないよう強く要請を行ってまいりました。</p> <p>今後とも、区の移転反対の姿勢は変わるものではありませんが、区としても区民への影響を考慮し、あらゆるケースを想定し、その対策も検討しておく必要があると認識しております。</p> <p>具体的には、災害拠点病院の確保はもとより、区民の皆様が適切な医療や介護を受けられ、健康づくりや介護予防にも積極的に取り組んでいただけるような環境整備に努め、人が集まり、地域の活性化にもつながるような対策を図ってまいりたいと存じます。</p>	
9	今後10年間の間に、荒川区役所の新設についての検討が必要である。	<p>本庁舎については、昭和43年の竣工以来48年が経過しておりますが、平成23年度に耐震改修を完了するなど、計画的な予防保全を行っているところでございます。</p> <p>区民の皆様の利便性や建物の安全性等を考慮しつつ、本庁舎の今後について検討を進めてまいります。</p>	
10	児童相談所の設置と親の考え方と生活の貧困がまねく子ども達の対策が必要である。	<p>御指摘の件につきましては、区としても今後10年間、特に重点的に取り組むべき課題と認識しており、本計画の新たな施策として「子どもの貧困対策とひとり親家庭等への支援」、「児童相談所の設置及び円滑な運営」を新設いたしました。</p>	
11	児童相談所の区内設置はよかったと思う。	<p>頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、こうした子どもたちへの支援について一層の充実を図ってまいります。</p>	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
12	永年荒川区に住み続け、健康で幸福を実感している。	生涯にわたる健康は幸せな人生の礎となるものと認識しております。基本構想及び本計画にて目指すべき都市像の1つと位置づけている「生涯健康都市」の実現に向け更なる取組を充実させてまいります。	
13	総じて区民に分かり易い説明、表現とするよう一層の工夫が必要。 特に、「財政負担の平準化」、「PDC Aサイクル」、「インキュベーション機能」等、専門的な用語には注釈を付けるべきである。	御指摘の趣旨を踏まえ、例示していただいた箇所を含め、全体を通して分かりづらい説明や表現等を修正するとともに、専門用語への注釈を追記いたします。	
14	高齢者支援で「みまもりネットワーク事業」で、漏れている対象者をHSC（荒川ハッピーネスサポーター）の面々でカバー出来るのではと思う。	施策「高齢者の在宅生活の支援」において、元気な高齢者の皆様に地域での「支える側」の役割を担っていただく仕組みづくりについて明記しております。 こうした仕組みづくりにつきましては、頂戴した御意見も含め、どのような形で実施が可能であるか検討してまいります。	
15	計画素案については、ほぼ全ての面で適切であると感じた。 ただし、生涯健康都市の中で、全てのジェネリック医薬品の利用を勧奨することには課題があると思う。	保険料の収納率向上や医療費の適正化を図り、保険者として国民健康保険制度を適正に運営していくことは、区の責務であると認識しております。 ジェネリック医薬品につきましては、全てを後発薬にということではなく、引き続き正しい知識・利用方法について普及啓発を行うことで、適切な活用を促してまいります。今後も、ジェネリック医薬品の利用に関する課題等を踏まえ、医師会と適宜相談しながら、医療費適正化を進めていきたいと考えます。	
16	ジェネリック医薬品について、一部の外用の湿布薬に関していえば、使い勝手が悪くジェネリックに変えられない。		
17	シルバー大学、高年者クラブ等に参加なさっている高齢者は、生き生きと活動しており、区の支援も行き届いている。 さらに地域ごとのサロンのメニューに脳トレーニングを漏れなく入れたら（大かた入っている）脳の活性化がより図れると思う。実際、私は実感している。	高齢者の皆様が住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができるよう、これまで区では、シルバー大学や高年者クラブの活動支援など高齢者の皆様の社会参加や生涯学習の機会の提供、介護予防、認知症予防等、一人一人のニーズに応えるための多様な支援に取り組んでまいりました。 頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、脳トレーニング等の認知症予防施策の拡充を含め、高齢者の皆様への総合的な支援を一層充実してまいります。	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
18	<p>高年者の増加が謂われる中で、荒川区では生涯学習、スポーツに取り組む人が多いように感じる。更に充実して行くよう要望する。</p>	<p>区では、地域のあらゆる場で、住民同士が相互に学び合い、教え合う相互学習の環境の醸成を目指し、平成26年度に、文化活動、スポーツ活動、生涯学習活動等を一元的、横断的に所管する部署として地域文化スポーツ部を創設いたしました。</p> <p>本計画においても、「生涯学習活動の支援」、「スポーツの推進」、「地域活動の支援と人材育成」、「地域文化とコミュニティの拠点づくり」、「芸術文化の振興」など、様々な施策において、区民の皆様の生涯にわたる学びやスポーツを推進しており、御意見の趣旨を踏まえ、これらの施策に基づいた取組を一層充実させてまいります。</p>	
19	<p>木密地域の解消には住民の全面的協力が無いと実施不可能である。個々の目先の利害に捉われないよう、広い視点に目を向けさせる全体的な盛り上げが必要と考える。</p>	<p>頂戴した御意見の内容につきましては、施策「災害に強い街づくりの推進」において、「地域が一体となった防災街づくり」、「区民との危機意識の共有化」として明記しているところであり、区としても御指摘内容と同様の認識を持っているところです。今後も地域での防災まちづくり協議会や町会での説明、各戸訪問の実施など防災意識の啓発・醸成に努め、区民の皆様の御協力をいただきながら、引き続き災害に強い街づくりを推進していきます。</p>	
20	<p>街の緑化は荒川区ではなかなか難しい分野かと思われる。私の子どもの頃のあらかわ遊園は、大木がうっそうとしている箇所等があった。あらかわ遊園や汐入公園の樹木が成長して、緑化が進む事を期待する。</p>	<p>区内の緑化を推進することは、区民の皆様にゆとりとうるおいを提供し、生活環境を向上させる上で、非常に重要な視点であると認識しております。こうした取組については、本計画では施策「緑とうるおい豊かな生活環境づくり」に位置づけているところであり、頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、公園等における樹木の整備について検討を進めるなど、一層の緑化の推進に努めます。また、区民の皆様との協働による「街なか花壇」の設置など、街なかの緑の増加も進めていきます。</p>	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
21	<p>都電沿線、隅田川沿いはなるべく高層化を避けて欲しい。</p>	<p>これまで区では、都電や隅田川の水辺空間を活用した各種イベント等を実施しており、こうした荒川区ならではの景観を保持していくことの重要性については同様に認識しているところです。</p> <p>御意見を頂戴した都電通り沿いでは、周辺住民の合意を得た上で地区計画に定める建物の高さを、同等の条件の他地区よりも制限しております。</p> <p>このような街並みを向上させていくための取組につきましては、周辺住民の合意が基本となっており、引き続き、区民の皆様の御意向を十分に把握し、区民主体のまちづくりを推進していきます。</p>	
22	<p>商店街の衰退には目を覆いたくなる。個人商店がなくなるのは本当に残念である。魅力ある個店への応援もさることながら、大規模店の進出に配慮しないと防げない部分があるのでは。</p>	<p>大規模小売店の出店による区内商店街の影響につきましては、区としても憂慮しておりますが、現在の法律の枠組みの中では、大規模小売店出店を需給調整の観点から規制することは難しい状況にあります。</p> <p>そこで、区では独自の要綱を制定して、大規模小売店が出店する際には、事業者が住民説明会を開催するとともに地域団体からの要望への対応を行うこととしております。区は、今後とも商店街の魅力向上のための取組を積極的に行うとともに、商店街と大規模小売店が一体となって地域産業の振興が図られるよう、多様な支援を継続してまいります。</p>	
23	<p>長期的に日本の将来を見据えたとき、最大の問題は少子高齢化である。経済、政治、医療、介護、産業、教育、職、定年、税金、食糧、生活習慣病、生活環境、伝統文化、災害等、東京の中の荒川区も生活して行く中で日本の少子化、高齢化傾向を抜きには考えられなくなっている。</p> <p>私も高齢者の一人として、今後は若い人達に荒川区の基本計画を遂行してもらうことに期待している。</p>	<p>将来にわたり持続可能で活力ある荒川区であり続けるためには、少子高齢化への対策は喫緊の課題であると認識しております。</p> <p>このため区では、子育て支援策や高齢者施策に重点的に取り組むとともに、平成27年度に策定した『荒川区人口ビジョン』、『荒川区しごと・ひと・まち総合戦略』において、出生率の向上や若い世代等の定住化の促進などを目指すべき方向性として掲げ、様々な取組を推進してきました。</p> <p>頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、未来の荒川区を担う若い世代に、区政に関心を持っていただくための取組や、地域活動等に参加していただくためのアプローチを積極的に展開してまいります。</p>	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
24	<p>素晴らしい素案であると思う。是非立派な基本計画を作成してほしい。</p> <p>若干の意見を申し上げれば、当区の小中学生の中には、家庭の所得が少ない為パソコン等を所持していない者もあり、時代が進めば全員にパソコンが必要である。その場合、学校がパソコン貸し与える予算計上が必要になると考える。それについての財源は、素案の5ページ「財政収支の想定」によると普通建設事業費がH29～33年比H34～38年比では約20%ダウンしているのをそれを活用すれば可能と考える。</p>	<p>頂戴いたしました御意見のとおり、これからのグローバル社会をたくましく生き抜くためには、子どもたちがICT機器を活用するため能力を身に付けることは重要であると認識しております。</p> <p>現在、区内の全小中学校に児童生徒が1人1台の活用ができるタブレットパソコンを配置しているところでございます。</p> <p>本計画においては、施策「確かな学力の定着・向上」、「創意と工夫にあふれた教育の推進」にICT教育について明記しており、御指摘の趣旨を踏まえ、これらの取組の一層の充実を図ってまいります。また、予算につきましては、区政の各分野における重要課題や区民ニーズに積極的に対応するため、限られた財源を重点的かつ効果的に配分するとともに、将来的な財政負担の平準化に引き続き努めてまいります。</p>	
25	<p>基本計画の体系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生涯健康...介護予防、地域医療、充実していると思う。 2) 子育て教育...児相の設置 3) 活気ある商店、魅力ある個店、シャッター通路とならない対策 4) 環境先進...ごみの適切処理、まちの美化につながる 5) 文化創造...伝統的文化の保存 6) 子育て教育...家庭教育の支援 <p>以上、意見にならないが、車道と歩道等、道の問題が気になる。</p>	<p>荒川区では、目指すべき都市像として、分野別に「生涯健康都市」、「子育て教育都市」、「産業革新都市」、「環境先進都市」、「文化創造都市」、「安全安心都市」の6つの都市像を示しています。</p> <p>これらの都市像の実現に向け、様々な取組を進めることにより「幸福実感都市あらかわ」を目指します。</p> <p>道路の件につきましては、政策「良好で快適な生活環境の形成」及び政策「利便性の高い都市基盤の整備」に基づき、幹線道路の整備や細街路の拡幅などに一層取り組んでまいります。</p>	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
26	インターネットで調べることは確かに便利だが、使うだけでも発信していることに変わりないことを自覚しないとイケないし、それを学校の低学年から教えていかないとだめだと思う。	<p>現在、区内全小中学校においてタブレットパソコンを導入し、ICT教育を推進するとともに、子どもをインターネットの及ぼす危険から守るための、正しい利用方法の周知やルールづくり、更には指導にあたる教師への研修を実施しているところでございます。</p> <p>本計画においては、施策「確かな学力の定着・向上」、「創意と工夫にあふれた教育の推進」にICT教育について明記しており、御指摘の趣旨を踏まえ、これら取組の一層の充実を図ってまいります。</p>	
27	<p>高齢者について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃通りを歩いているも、高齢者が多く、若い人をあまり見かけない。地域の活性化を図る必要がある。 ・高齢者同士の集まりなどで親しく交わることを好まない人もいると思う。 	<p>近年、荒川区は全国的にも「子育てしやすい街」との評価をいただき、子育て世代の方々の転入が増加傾向にあります。</p> <p>こうした若い世代の方々をはじめ、多くの区民の皆様へ地域活動等へ参加していただくことは、地域コミュニティの活性化につながり、ひいてはまちの賑わいの醸成に資するものと考えております。</p> <p>区民一人一人が、希望する形で地域とのつながりを持つことができるよう、御意見の趣旨を踏まえ、ニーズを捉えた多様な支援を一層充実させてまいります。</p>	
28	<p>防災について。</p> <p>一人暮らしをしている身で考えると、防災用品等普及率が上がっても、セット等の使い方に困るのではないかと。</p>	<p>本計画では、施策「災害時における体制の強化」において、自助、共助、公助の取組を推進することにより、災害時における体制の強化を図ることを記載しております。</p> <p>頂戴した御意見の趣旨を踏まえまして、防災訓練等の様々な機会を通じ、防災用品や資機材等の使い方も含めた普及啓発に一層取り組んでまいります。</p>	

	意見の要旨	意見に対する区の考え方	取扱
29	<p>基本計画の取組に賛同する。施策「温暖化対策の推進」に記載されている内容は、低炭素なまちづくりを目指す上で大変有効な手段である。施策「学校施設等の整備」、「市街地再開発事業等の推進」等のハードの整備に当たっては、環境に配慮したまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>区では、基本構想及び本計画において、目指すべき都市像の1つとして「環境先進都市」を掲げており、様々な取組を進めているところでございます。</p> <p>環境対策を一層進めていくためには、行政だけでなく、区民や事業者の皆様のご協力が不可欠と考えております。御指摘の趣旨を踏まえ、今後とも官民一体となった「環境に配慮したまちづくり」を積極的に推進してまいりますので、一層の御支援、御協力をお願いいたします。</p>	
30	<p>健康づくりにおける特に受動喫煙対策の推進関係者の立場から、具体的な意見・提案をする。</p> <p>1 タバコは、早期死亡、健康寿命の短縮、要介護の増加等につながるものであり、あらゆる機会を通じてその周知・対策徹底を図る必要がある。</p> <p>2 タバコ特に受動喫煙の危害防止について、公共性の高い施設において子ども・妊産婦を守ることを最優先に全面禁煙ルールを確立して順次広げていくことや、幼稚園や小中学校をなどの保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等を行う必要がある。</p> <p>3 子ども・青少年の喫煙防止とともに、親や妊産婦・家族が喫煙している場合は禁煙を促す抜本的施策などが必要である。</p> <p>・子ども・青少年の喫煙防止とともに、親や妊産婦・家族が喫煙している場合は禁煙を促す抜本的施策などが必要である。</p> <p>4 より若いへの禁煙サポートの推進が必要である。</p> <p>5 男女共同参画、特に女性の健康づくりの推進に関連して、禁煙と受動喫煙の危害防止は「生涯を通じた女性の健康づくり」にとっても必要である。</p> <p>6 がんとの因果関係を強調した啓発と対策が必要。こうした対策は中長期的にもタバコを吸えない社会環境づくりとして喫煙率を低減させることに有効であり、住民の健康寿命の延伸に寄与するものである。</p>	<p>頂戴した御意見のとおり、喫煙は本人の健康を害するだけでなく、周囲へ及ぼす影響も大きいものであることから、喫煙の対策が必要であると区としても認識しております。</p> <p>喫煙対策は、健康、環境、子育て、教育等、複数のセクションが全庁を横断的に取り組むべきものであると考えており、本計画においては、施策「青壮年期の健康増進」、「児童生徒の健康づくりと体力向上」、「まちの美化の推進」等、様々な施策において対策を位置付けております。</p> <p>これまで区では、各小中学校において、保健師等の外部講師や養護教諭による煙草の身体に及ぼす危険性等を理解するような教育活動の実施、区内飲食店に対する「受動喫煙防止推進ステッカー」の配付と活用推進の働きかけ、禁煙外来を受診する区民の診療費用の一部を助成する「禁煙チャレンジャー事業」等を実施しており、御指摘の趣旨を踏まえ、こうした取組を一層推進してまいります。</p>	